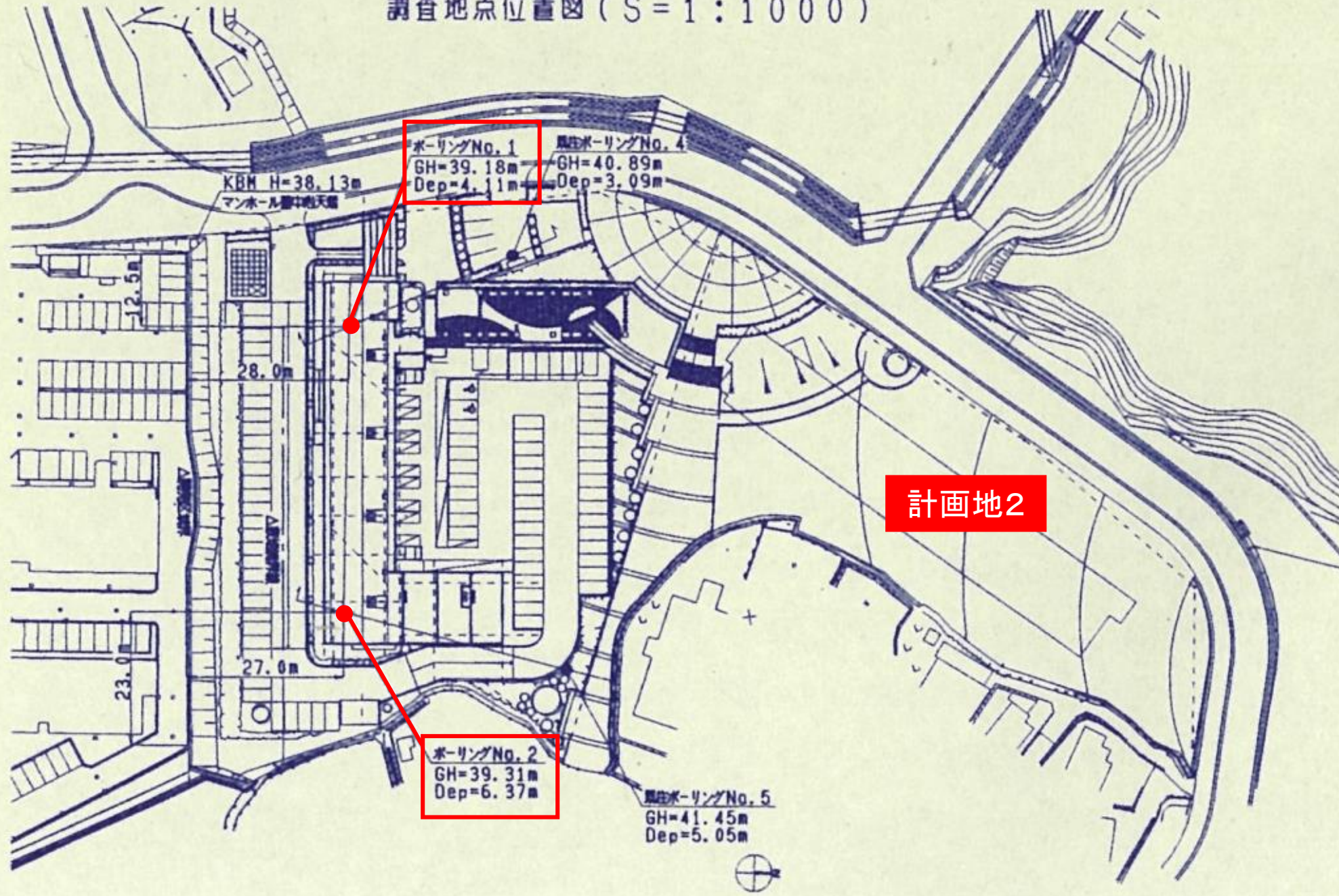


調査地点位置図 (S=1:1000)



計画地2

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge201

調査名 (仮称) 県営上安住宅整備事業地質調査

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2	調査位置	広島市安佐南区上安二丁目			北緯	. . .					
発注機関					調査期間	平成16年3月24日~平成16年3月25日			東経	. . .		
調査業者名	株式会社 東建ジオテック 082-220-1851		主任技師	平本 和則		現場代理人	平本 和則		コア鑑定者	平本 和則		
ボーリング責任者	佐藤 秀三											
孔口標高	GH 39.31m	角 度			方 向			使用機種	試験機	東邦D-1		
総掘進長	6.37m							エンジン	ヤンマー-NFD-13M		ポンプ	東邦BG-3

標高 尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色	相対 密度	相対 稠度	相対 稠度	記 事	孔内水位 (m) /測定月日	標準貫入試験				原位試験		試料採取		掘進 月日
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数/ 貫入量 cm	深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	試料 番号	採取 方法	
36.81	0.50	0.50	X	粘土・砂質粘土	黄褐色				マサ土状。レンジ穴を貫入す。 注。	3/25 2/45 (日)	0	10	20	30	2.7				3/24 3/25
36.61	0.20	0.70		粘土・砂質土	黄褐色				中~粗砂状のマサ土。 上部は圧縮土状。粗砂中 ~上部中~粗砂状である。 試験物を貫入する。貫入 は早い。		1.15	1	1	1		3			
37.61	1.00	1.70	●	シルト質土	黄褐色				中~粗砂状のマサ土。 上部は圧縮土状。粗砂中 ~上部中~粗砂状である。 試験物を貫入する。貫入 は早い。	1.47	1	1	1	3					
37.06	0.55	2.25		砂質土	黄褐色				中~粗砂を主体とする。 φ20~60mm位の角礫を主体と する。GL-2.27~2.50m。 φ50~3.60mmのコア割。=10~ 25cmで貫入とれる。試験物は貫入す る。	2.15	11	49	2	60					
35.66	1.40	3.65	●	粘土質砂	黄褐色				φ20~60mm位の角礫を主体と し、上部はマサ土質の中~粗 砂状で貫入される。	2.27	9	10	13	30					
34.61	1.05	4.70		砂	黄褐色				φ20~60mm位の角礫を主体と し、上部はマサ土質の中~粗 砂状で貫入される。	3.15	9	10	13	30					
33.51	1.10	5.80	●	砂質粘土	黄褐色				マサ土質の中~粗砂状であ る。φ20~40mm位の角礫を貫 入する。	3.45	10	15	16	41					
32.94	0.57	6.37		砂質土・砂	黄褐色				試験はマサ土が貫入している。 試験は貫入の早い。試験物 は貫入するが、試験としては 貫入が早い。	4.15	6	9	22	39					
										5.45	17	27	16	50					
										6.15	17	27	16	50					
										6.37	17	27	16	50					